

公立高校入試まで100日を切る！どのように勉強していますか？

公立高校の入試まで凡そ100日を切りました。まだまだ日があると感じる人と、もう100日を切ったとを感じる人、人によって感じ方は様々かもしれません。また、高校入試の問題を日々解いている人、定期テストで頑張って内申点を上げることに努めている人、具体的な行動も人によって異なると思います。しかし、この時期になるともう既に志望校を決め受験勉強や面接練習などに励んでいる人が少なくないと思います。

この時期になると何を優先するのかは、人によって異なります。勉強が順調に捗っている人は、そのままのペースを維持するように努めてください。しかし、順調に運んでいない人は、何が出来ていないのかを考え、その克服を図りましょう。

県内公立高校の一般入試の学力検査は、県内学力向上進学重点校の特色検査を除けば共通選抜の場合、全校共通の問題が出題されます。その試験範囲は、中学校の学習指導要領の範囲内、すなわち中学校の教科書の範囲が出されることとなります。ゆえに教科書の範囲を確実に押さえることが大切なのです。

過去入試問題を入手し、出題傾向や出題形式等を調べ時間内に解答できるように対応します。神奈川県の共通選抜における過去問題は、神奈川県のホームページからダウンロードすることができます。また、この時期に新たに問題集を何冊も購入し、問題を解くことはあまり勧められません。それより過去の定期試験や模擬試験等で間違えたところを見直し、必ず解けるようにする方が重要です。

本校の場合、共通選抜では英数国理社の5教科が入試問題となります。この5教科の既習事項を確認し、問題集の演習で正答できるかが、得点への鍵となります。誰にでも得意教科や不得意教科はあります。各教科の重要ポイントをまとめ、問題や模擬試験等で応用ができるかが大切です。特に、この時期、苦手科目を克服した方が、得点を稼げるケースが多いと思います。逆に、得意科目は過信せず、もう一度既習事項の見直しを行ってください。

例えば、理科が不得意だという生徒の場合、理科で点数の差がでやすいといわれるのが物理と化学といわれています。物理や化学の場合、計算問題が出題されます。その計算問題を解いていくには公式や法則をきちんと覚え、使えるようになっていることが大切です。

このように、教科書に記載されている事項、法則、公式などを押さえ、演習問題等で設問に用いることができることが大切です。教科書の範囲とは、本文に示されているものだけでなく、年表、図表、周期表、写真、絵図なども含まれます。

残り90日ですが、慌てず、確実に学習していきましょう。分からないことは学校の先生、塾の先生、理解している友人に尋ねましょう。特に、理科第一分野や数学は、解き方を教えてもらいましょう。まだ90日あります！頑張ってください。

令和3年度 本校の入試選考について

神奈川県教育委員会のホームページには、「令和3年度入学者選抜の情報」欄に「選考基準及び特色

検査の概要」が掲載されています。そのなかに各校の選考基準も示されていますが、本校の【一般募集】及び【在県外国人等特別募集枠】の選考方法について、昨年度までと同様で特段の変更点はありません。但し、一般募集の下線部については、本校が学習の記録で重点化している箇所です。注意してください。

【一般募集】

- ① 学力検査実施教科 英語・国語・数学・理科・社会 の5教科とする。
- ② 特色検査 実施しない。
- ③ 各資料の重点化

1. 第1次選考(定員の90%) 学習の記録 a(3) : 学力検査 b(5) : 面接 c(2)

ただし学習の記録について、国語、数学、英語のうち、点数の高い1教科を2倍する。

2. 第2次選考(定員の10%) 学力検査 b(7) : 面接 c(3)

- ④ 面接の評価の観点

<共通の観点>

- i 入学希望の理由 ii 中学校での教科等に対する学習意欲
- iii 中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲

<学校ごとの観点>

- ・高校での教科・科目等に対する学習意欲
- ・高校での教科・科目等以外の活動に対する意欲
- ・将来の展望

第1次選考の選考は、 S_1 値の順位に従って募集人員の90%までを合格とします。 S_1 値の算出方法は次のとおりです。学習の記録、学力検査、面接の各資料を100点満点に換算した数値a~cを算出し、本校が定めた比率3 : 5 : 2を乗じて S_1 を算出します。 S_1 の満点は1000点となります。

第2次選考は、 S_2 値の順位に従って募集人員の10%を合格とします。 S_2 値の算出方法は次のとおりです。学力検査、面接の各資料を100点満点に換算した数値 b、cを算出し、本校が定めた比率7 : 3を乗じて S_2 を算出します。 S_2 の満点は1000点となります。

本校では、平成29年度より普通科に改編され、「進学に重点を置いた学校づくり」を展開してきました。平成31(令和元)年度に新校の完成年度を迎え、いままで以上に進路実績の向上を図るため、基礎力や基本教科である国語・数学・英語の3教科のうち、学習の記録の一番高い評価を2倍しています。

【在県外国人等特別募集枠】

実施する検査 学力検査【英国数】(3) 面接(1)

①学力検査について、3教科の得点を合計する。(G=300点満点)

②面接について、観点ごとに点数化し合計する。(M=100点満点)

選考は、次の式から算出した数値をS値とし、S値の高い者から総合的に選考する。

$$S(400点満点) = G + M$$

- ③面接の評価の観点

- ・入学希望の理由 ・高校での教科等に対する学習意欲
- ・高校での教科等以外の活動に対する意欲 ・将来の展望

在県外国人等特別募集枠の説明会については12月に開催する予定です。詳細はホームページ上に記載します。または045-242-1927にお問い合わせください。